

外壁塗装



亀井工務店

こんにちは、亀井工務店です。
亀井工務店は平塚市豊田にある工務店です。工務店ですので、新築やリフォームはもちろん外壁塗装・屋根塗装など家に関する様々なことも行っております。

今回は外壁、屋根塗装について「なんでやるのかな？どういうことをするのか？」そんな疑問に関するパンフレットを作成いたしました。
外壁塗装を考えている方、これから考える方のお役にたてれば嬉しく思います。

外壁塗装の業者は、たくさんありますので選ぶのに迷ってしまう方もいらっしゃるかと思います。亀井工務店は、塗装を専門に行っているプロの職人と家のすべてに関する職人がタッグを組んでいるので、塗装だけでなく他に気になる所があった時などの対応もスムーズに行えます。
お客様に気持ちよくお任せいただけるようにコミュニケーションを大事に、仕上がりはもちろん満足していただけるように日々精進しています。小さな会社ですが、仕事には自信と誇りをもって行っておりますので安心してお任せください。



外壁塗装は必要？

外壁塗装は、様々な刺激から家を守る



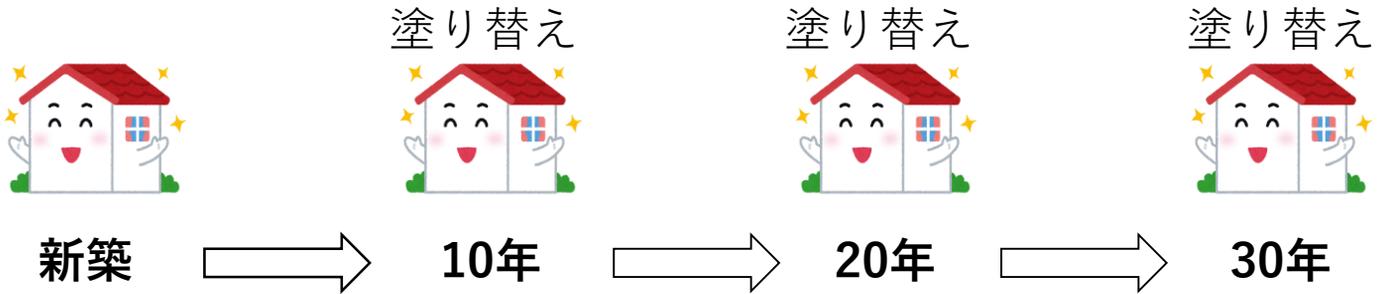
塗料は単に外壁を綺麗に見せるだけのものではなく、外気、雨風などの外からの刺激を毎日どんな日も休みなく家を守ってくれているのですからその塗装は少しずつ剥がれていってしまうのです。



外壁塗装はいつ頃するのがいいの？

目安の時期は、築10年たった頃

一般的に外壁の塗り替え時期に適しているのは、約10年目くらいとされています。



定期的に外壁を塗り替えることにより次のことにもつながります。

- 家の美観が保たれる！
- 家の耐用年数が延びる = 家の資産価値が高まる！



外壁の塗り替えを怠ったらどうなるの？

安いものではないから必要になったらやればいいんじゃない？
何の為に外壁を塗り替えるの？しないとどうなっちゃうの？

それについてはこちら

雨漏りなど、水の侵入を防ぐ

雨漏りしてからではなく雨漏りする前にフォローしてあげることが大切です。

補強し劣化を防ぐ

外壁は常に負担がかかっていて思った以上に劣化しています。どうしようもない位の状況になってからでは遅いのです。

家を長持ちさせる

築10年を目安に外壁のケアをしてあげると家は約3倍長持ちすると言われています。

トータル費用を安く抑える

ひどくなってから外壁補修、塗り替え工事をするのは補修費用が膨大になってしまいます。



外壁塗装の耐久性がなくなると以下のことが起こってきます

防水効果の低下

- 外壁の耐久性が落ちると雨などの水分、湿気の侵入を防ぐことができません。

ひび割れが起きる

- 外壁塗装が剥がれてきて耐久性がなくなると、外壁自体にひび割れを起こします。ひび割れが起こるとともに外壁が反ってきます。こうなるとますます外壁の劣化は進行していきます。

外壁内部の劣化

- 外壁がひび割れてくると湿気、汚れ、雨が直接外壁内へ染み込む為そこから外壁内部の劣化（腐食）が始まります。

外壁内部へ湿気や水分が入るとどうなるか？

家が傾く恐れ

雨漏り

外壁内部の腐食

コンクリートの
強度低下

ひどくなってからでは他の部分にも影響がでてしまうことがありますので、まだ大丈夫と思ってもメンテナンスをしてあげることをおすすめします。





どんな症状が出てくるの？

自宅をセルフチェックしてみましょう



汚れた外壁

・築10年もするとこうした汚れが目立ちやすくなってきます。



色あせた外壁

・塗装表面につやがないので汚く見えます。汚れもつきやすくなります。



外壁のひび割れ

・モルタル壁に多く見られます。見た目も悪く、強度的にも不安があります。



塗装の膨れ

・梅雨など湿気の多い時期に施工したことなどにより塗装時に外壁に水分が残っていた。素地のさびが膨れている場合もある。



塗装のはがれ、めくれ

・外壁に付着したコケを放っておくとカビになります。



カビの発生

・モルタルの壁に多く見られます。見た目も悪く、強度的にも不安があります。



サビの発生

・サビは鉄部に多く見られますが外壁に発生することもあります。



腐食した外壁

・サビや外壁の剥がれやめくれを放置するとそこから外壁が腐食してきます。こうなる前に補修をするべきです。



チョーキング現象

・外壁の表面を手で触った時に手に白い粉がつく現象のこと。塗装の防水効果がなくなるとこのような現象が起こります。築10年経ってなくても防水効果がなくなるとこのような現象が起こります。チョーキング現象が起こったらなるべく早く塗り替えをお勧めします。

外壁塗装の流れ



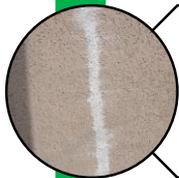
足場架設



高圧洗浄

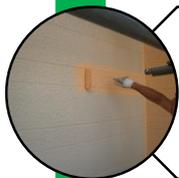


養生作業

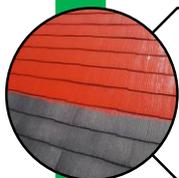


各部下地処理

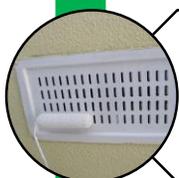
※1外壁クラック処理、※2ケレン、下塗り



外壁の塗装



屋根の塗装



その他の部分の塗装

※現場により順番など前後する場合がございます。

外壁や屋根の塗装面にこびりついたカビや汚れを高圧の水流によって洗い落として塗料の接着をよくする為に行います。



補修前



補修後

※1 写真のようにクラック=ひび割れの補修をします。

※2 ケレンとは下地調整の一種で、塗装前の塗装面を専用のヤスリなどで削ったり、サビを取る作業です。鉄部や木部のケレンはとても重要です。サビや旧塗装の剥離部分などしっかりケレンしなければ2~3年で確実に剥がれてきます。サビている箇所や剥離部分に限らず塗装表面の綺麗な個所ではケレンで傷をつけることも目的です。塗装面全体に傷をつけることで塗料の密着を高めます。

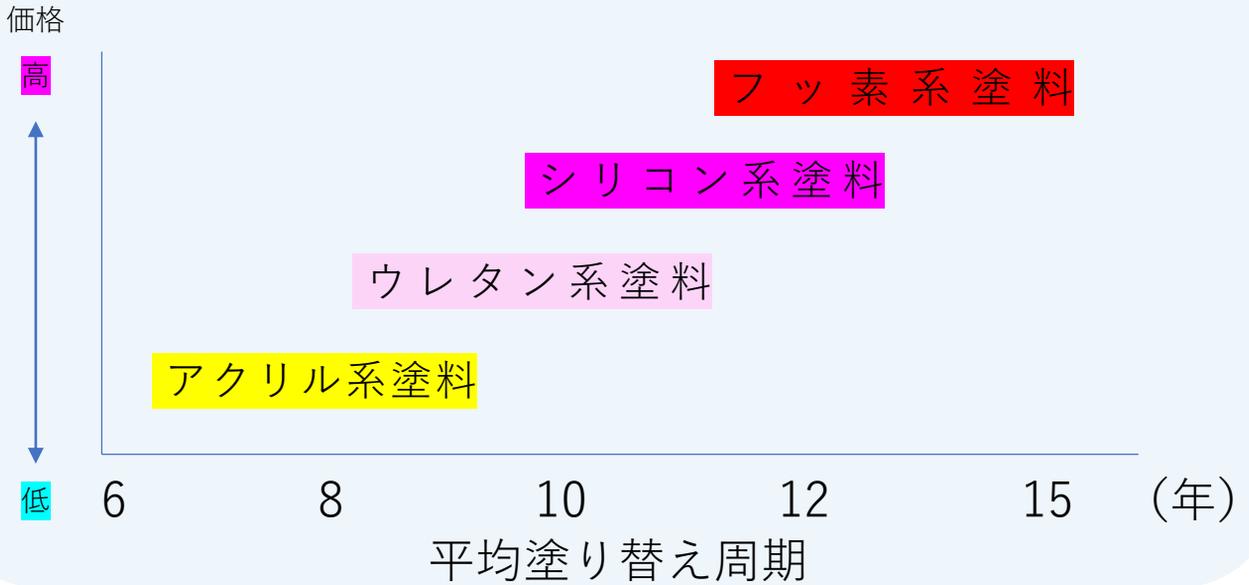
外壁と屋根塗装は別々で行っても平気ですが別々ですと足場代がそれぞれかかってしまうので一緒にやることをおすすめします。

雨戸や木部なども塗装します。写真は通気口の写真です。

最後に各部手直し、清掃を行いお客様に仕上がりをお納めしていただきながら足場を解体します。



塗料はどれを選べばいいの？



塗料には様々な種類がありますのでお客様の外壁に合わせた塗料をすすめさせていただきます。



シーリング・コーキングってなに？

※サイディング壁ではない場合こちらは必要ありません

家の外壁サイディングの特徴といえば、ボードとボードの境目にある継ぎ目です。

これを「目地」といいますがこの場所と窓などのサッシ周りにはシールというゴム状のものが埋め込まれています。

このシールのことを**シーリング・コーキング**ともいいます。

新築時サイディングボードを張り終わった工事の後、始めはマヨネーズ状になっているシールを目地などに注入していき時間がたつとゴム状に固まっていきます。

時間による経年変化、新築の時は上から塗装をせずにシールそのものがむき出し状態の為紫外線が直接あたる格好となって劣化していきます。特に家の北東側より太陽のあたりが強い南西側の劣化が激しくなります。

そのため後々の雨水の侵入を防ぐためにも、塗装前にシールの打ち直しの交換工事が必要になってきます。専門用語では「打ち替え」ともいいます。

打ち直しをせずに塗装も可能かもしれませんがせっかく足場を組んで工事するので多少の費用は加算されてしまいますが長持ちすると考えれば必ずやっておいたほうがいいでしょう。

補修前



補修後



流れなどを簡単に説明させていただきましたがいかがでしたでしょうか？説明しきれない所も多々ございますので気になった所、詳しく知りたい所、お気軽にお問い合わせください。



塗装職人 山田 貴久

有機溶剤作業責任者・足場作業主任者



塗装職人 山田 直己

会社概要

社名 有限会社 亀井工務店
創業 大正5年7月
代表 代表取締役 亀井雅明
住所 〒254-0087 神奈川県平塚市豊田本郷1752
電話 0463-31-6372
FAX 0463-35-2589



免許・許可登録

建築大臣許可 般-27 第81034号
級建築士事務室
一級技能士 建築第47号NO.21336
SW認定番号 980330
日本住宅保証機構 A040053

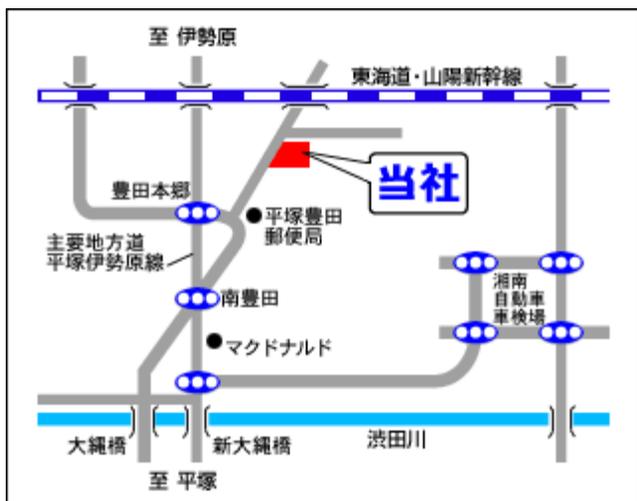
登録店



日本住宅保証検査機構

JIO システム

- 欠陥住宅を防ぐために、建築中からしっかりチェックするシステム。
- 地盤から建物まで10年間の一体保証。



お見積りは無料です。
お気軽にご相談下さい。



女性の笑顔
応援
リフォーム



TRETTIO

スーパーウォール工法

機能と美が棲んでいる新しい住まいづくりの店

亀井工務店



☎0463-31-6372

神奈川県平塚市豊田本郷1752

HP <http://www.kameikoumuten.co.jp>

✉ kamei-koumuten@mg.scn-net.ne.jp



HPへ

facebook

Instagram

亀井工務店

検索

